

企業紹介

肌触りも着心地もよい自社ブランド 「Prima Maglieria(プリマ・マリエリア)」

DAICHI KNIT MARKETING 

第一ニットマーケティング株式会社

取締役社長 近藤 英雅
〒954-8619 見附市柳橋町270-1
TEL(0258)66-4513 FAX(0258)66-4516

業 種：ニット製造
資 本 金：8,500万円
従業員数：203名
事業内容：各種ニットの企画、製造、販売

全国でも有数のニット産地である見附市のニットメーカー、第一ニットマーケティング(株)。高い技術力を持つ同社では、OEM(相手先ブランド製造)に加え、近年では自社のオリジナルブランド「Prima Maglieria(プリマ・マリエリア)」の開発、販売等にも力を入れる。東京の有名百貨店内に売り場を構えるとともに、05年には見附市の本社1階を改装し、直営店「Primeira(プリメーラ)」をオープンした。

上質な素材を使い、繊細な編み目のニットを製造

同社では、主に婦人・紳士等各種ニット製品をOEM生産している。得意とするのが、ファインニットと呼ばれるニットで、ドイツのシェラー社のフルファッション機を使い、30ゲージという極めて細かい編み目で、見頃や袖などをひとつひとつ型紙どおりの形に編み上げ、丁寧につなぎ合わせる。素材を厳選し、繊細な編み目で編み上げた同社のニットは、肌触りがよく体に心地よくフィットする。OEM先はミセスを中心としたアパレルが中心だったが、最近では「トゥモローランド」や「ファイブフォックス」などキャリアを対象にした先からの注文も増え、商品の幅も広がってきた。



▲自社ブランド「Prima Maglieria」カタログ

自社ブランド「Prima Maglieria(プリマ・マリエリア)」を販売

一方、アパレルが中国などアジアでの生産拠点を増やすなか、同社は自社ブランドの開発と独自の販売ルート確立を模索してきた。そうしたなか、03年には経済産業省が行った、中小繊維製造事業者の新たなビジネスモデルを支援する「中小繊維製造事業者自立事業」に採択され、事業を強化。その結果、現在は渋谷東急本店、伊勢丹新宿店、銀座松屋、三越本店など有名百貨店4店に、ヤングミセスを対象とした自社ブランド「Prima Maglieria」の売り場を構えるようになり、現在もさらなる商品の企画や開発等を進めている。



▲「Primeira」店はシンプルでレトロな雰囲気。ニットの種類もいろいろあり、探す楽しみもある。

本社1階に「Primeira(プリメーラ)」店がオープン

また、05年2月には見附市の本社1階を改装し、直営店「Primeira」をオープン。同店では自社ブランド「Prima Maglieria」の取り扱いはもちろん、OEMでのサンプル品や在庫品などもリーズナブルな価格で販売する。毎月第1土曜日には、大幅に商品の入れ替えが行われ、市内外から年齢を問わず、常連客が来店。日浦店長は「センスの良い自社ブランドや、品質は最高なのに工場で眠っていた商品など、幅広い品を扱っています。レイアウトも工夫し、お客様には思わぬ掘り出し物を探し出す『古着屋さん』のような楽しさを味わってもらいたい」と自らも楽しそうに話す。「Primeira店にもっと付加価値をつけたい」と、今秋にはリニューアルを計画中。生まれ変わった「Primeira」店も期待できそうだ。



▲「Primeira」店 日浦店長